費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	142,191,561	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等及び運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）損益計算書上に計上した費用の額：142,191,561 （研究委託費117,066,881等） イ）固定資産の取得額：（建設仮勘定546,874,406等）607,257,281 ウ）運営費交付金収益への振替額の積算根拠（アの全額）：142,191,561 エ）資産見返運営費交付金への振替額の積算根拠（イの全額）：607,257,281
	資産見返運営費交付金	607,257,281	
	資本剰余金	—	
	計	749,448,842	
会計基準第81第３項による振替額		225,237,909	○中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81第３項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化
合　　計		974,686,751	

④　平成22年度交付分

［単位：円］

区　　分		金　　額	内　　訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（業務達成基準を採用した業務はありません）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（期間進行基準を採用した業務はありません）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	10,523,895,261	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等及び運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）損益計算書上に計上した費用の額：14,606,653,589 イ）自己収入に係る収益計上額（受託収入、事業収益、雑収益、財務収益、保険金収入）：3,001,443,905
	資産見返運営費交付金	674,212,825	
	資本剰余金	—	
	計	11,198,108,086	
			ウ）資産見返等の収益化の額（資産見返運営費交付金戻入、施設費収益、寄附金収益、補助金等収益、固定資産等受贈益）：1,066,285,602 エ）調整：

項　　目	金　　額	備　考
差引額（アーイーウ）	10,538,924,082	
受託収入財源で購入した有形固定資産から生ずる損益	△　18,614,421	減価償却による調整を含む
損害保険関連損益	△　7,991,831	減価償却による調整を含む
ファイナンス・リース関連損益	7,835,370	
その他	3,742,061	
計	10,523,895,261	

			オ）固定資産の取得価額：674,212,825 カ）運営費交付金収益への振替額の積算根拠（エの全額）：10,523,895,261 なお、自己収入を優先的に充当しており、超過分を運営費交付金で充填しています。 キ）資産見返運営費交付金への振替額の積算根拠（オの全額）：674,212,825
会計基準第81第３項による振替額		929,505,914	○中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81第３項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化
合　　計		12,127,614,000	

⑻　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

１）施設費の明細

［単位：円］

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘　要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	そ の 他	
平成21年度	81,955,260	—	71,950,624	10,004,636	
平成22年度	16,294,200	—	—	16,294,200	
計	98,249,460	—	71,950,624	26,298,836	